

TEGO Cosmo C250

(テゴ コスモ C250)

肌を明るくさせるアミノ酸誘導体

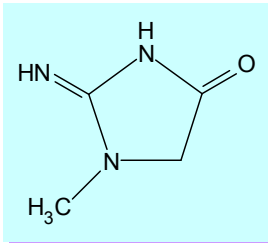
【特長】 天然のアミノ酸誘導体で体内に存在する構造
安定性、安全性に優れ、幅広い処方が可能
少量でメラニンネットワーク形成を阻害

【コンセプト】

近年ニーズが高まっている美白化粧品は、薬事法、安定性・安全性の観点より国内・国外において使用できる原料には限りがあります。

TEGO Cosmo[®] C250 は、アミノ酸からなる新規スキンライトナーであり、もともと体内に存在している成分でもあることから肌に優しい美白原料です。

組成は、1-メチルヒダントイン-2-イミド もしくはクレアチニン と表現される構造物です。



クレアチニンとは…

グアニジン化合物に属する天然のアミノ酸誘導体です。哺乳類の細胞中に存在し、細胞の成長や分化などを調節する生理学的機能を有します。

安全性、優れた効果が実証されており、原料の安定性も高いため処方のバリエーションが広がる水溶性原料です。

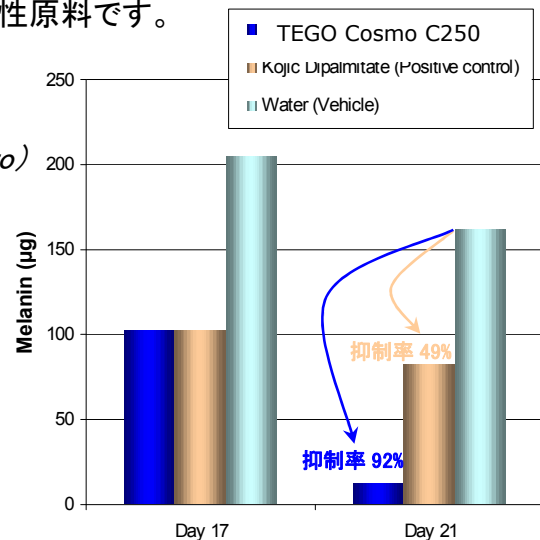
【効果・効能】

1. TEGO Cosmo[®] C 250 の美白効果 (*in Vitro*)

①メラニン定量分析評価:17 日後と 21 日後

(405nm で分光測定)

TEGO Cosmo[®] C 250 は、短期間ではコウジ酸ジパルミテートと同じ程度の有効性があり、さらに期間を延ばして使用すると2倍近くの効果がみられる。



②顕微鏡による組織分析:

Melanoderm™ 中でのメラニン合成の写真: (25 mg/cm²、48 時間毎に 21 日間に渡り適用)



水 (ネガティブコントロール)
メラニンの密集した
ネットワークが見える



コウジ酸パルミテート
少し薄いがメラニンの
密集したネットワークが見える

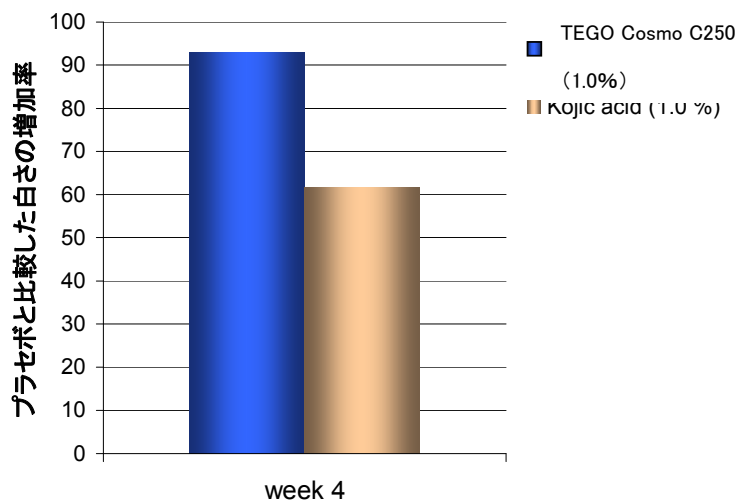


TEGO Cosmo® C 250
メラニンのネットワークは
見えない

TEGO Cosmo® C 250 には、メラニンのネットワーク生成を抑える効果があることが分かる。

2. TEGO Cosmo® C 250 の美白効果 (in Vivo)

ヒトでの評価 - スクリーニングテスト (Sequani, UK)



テスト条件

- 3 つの処方 (O/W-クリーム):
 - a) プラセボ
 - b) 0.1 % TEGO Cosmo® C 250
 - c) 1.0 % コウジ酸
- “タイプ3”-(斑点のある褐色の肌)の肌をもつ4人のボランティア
- クリーム塗布:
2 μl/cm²; 3x3 cm, 上腕の外側
塗布期間: 4 週間
- 肌の白さを評価
(0日目, 4週間目):
L-値 (彩度分析試験)

TEGO Cosmo® C 250 は、少量でも優れた美白効果を示す事が分かる

【商品情報】

商品名: TEGO Cosmo® C 250 (テゴコスモ C250)

表示名称: クレアチニン

製造元: エボニックデグサジャパン株式会社